

陳 情 文 書 表

(令和5年6月14日)

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第5号(5.5.30) 王子公園再整備におけるスポーツゾーンに関する陳情
陳情の要旨	<ol style="list-style-type: none">1. 基本計画は行政案を強行するのではなく、市民の希望・意向を実現する計画にすること。2. スポーツゾーンに幼児プールを含むプールを再整備すること。3. プールは年中利用できる室内温水プールを整備すること。4. アメフトのためのスタジアムは、より開かれた別の場所で計画すること。5. 広域防災拠点として活用することのできるサブグラウンドを再整備すること。
陳情者の住所及び氏名	神戸市灘区 坂口美紀
送付委員会	経済港湾委員会

令和5年(2023年)5月30日

神戸市議会議長様

陳情者

住所:神戸市灘区

氏名:坂口 美紀

電話:

携帯:



王子公園再整備の[スポーツゾーン]に関する陳情

令和4年12月に策定された王子公園再整備基本方針について、再整備の意義の項では、『大規模公園ビジョン』の観点から、『市民の健康増進、スポーツ振興の観点から、市域全体としてスポーツ施設の魅力を高めていく』と明記されています。が、本当にこの意義に沿った計画なのでしょうか。

幼児から高齢者まで幅広い年代の利用実績があるプールの廃止は反対です。特に幼児プールは、同様の機能を有するプールは他になく、王子プールの果たす役割を理解していないのは行政です。

- ・スポーツゾーンに幼児プールを含む、プールエリアを計画していただきたい。
- ・夏季限定が問題なら、年中利用できる室内温水プールを整備していただきたい。

市民は一方的に同じ説明を行政から聞かされ、挙げ句の果てには『1年かけて説明を重ねてきた、神戸市の考え方が市民の間に浸透し、理解が深まっている』と、12月7日の定例会で市長答弁がありました。しかし、市民はそのようには感じていません。『王子公園にプールを残して欲しい』という市民意見には、市民が納得する回答はなく、市民の声に向き合うことなく『王子プール廃止』計画が強行されようとしています。

同様に、地域に開かれた部活動の場所の確保、防災拠点としての広さの確保を考慮すると、地域が求めているのは、スタジアムではありません。より多様性のあるサブグラウンドの機能を有する代替地です。

- ・アメフトのためのスタジアムこそ、王子公園以外で計画してください。
- ・サブグラウンド近辺で活動している部活動の活動場所を保障してください。
- ・広域防災拠点として活用できるよう、開けた障害物のない広い場所を確保してください。

ゾーニングは令和4年12月の策定で決定事項のため変更しないと伺っていますが、各施設の具体的な整備内容は基本計画で策定のため、具体的な内容は可変項目であるはずで、行政の提示案を強行する計画ではなく、市民が望むスポーツゾーンを実現する計画であることを願い、以下の項目を陳情致します。

陳情事項

1. 基本計画は行政案を強行するのではなく、市民の希望・意向を実現する計画にしてください。
2. スポーツゾーンに幼児プールを含むプールを再整備してください。
3. プールは年中利用できる室内温水プールを整備してください。
4. アメフトのためのスタジアムは、より開かれた別の場所で計画してください。
5. 広域防災拠点として活用することのできるサブグラウンドを再整備してください。